

PTA 会員の皆さまへ

家
庭
数

平成 30 年 12 月 21 日
世田谷区立 塚戸小学校
PTA 会長 古屋 直子
家庭教育学級委員長 比氣 美紀

第2回 家庭教育学級のご報告

『 知ってみよう やってみよう 弱視(ロービジョン)の世界 』

12月15日(土)、ロービジョンフットサル日本代表主将であり CA SOLUA 葛飾代表岩田朋之氏を講師にお招きし、第2回家庭教育学級を開催しました。当日は97名の方々にご参加いただき、弱視ゴーグルによる体験や、「理解されにくい障害や問題を抱えている人が周りにいること」、「思いもよらない困難に突然見舞われたとき、自分や家族はどう乗り越えていくか」をテーマにした講演をしていただきました。

《弱視ゴーグルによる体験》

笹原小学校の弱視学級からお借りした弱視体験ゴーグルを使って、CA SOLUA 葛飾の選手やスタッフの方に弱視の方の見え方などのお話を伺いながら、2人1組で3種類(財布から硬貨を取り出す、障害物、サッカーボールのパス)の体験をしました。



《ロービジョンフットサル日本代表主将 兼 CA SOLUA 葛飾代表岩田朋之氏による講演》

- ・家族と生き立ち
- ・レーベル病、障害による変化
- ・ロービジョンフットサル、多様な見え方(全体にモヤがかかる、中心部のモヤが特に濃い、中心部は見えるが視野が極端に狭い、視野低下+乱視、視野がかける等)
- ・家族との関係性
- ・今の目標と将来の夢
- ・弱視の方へのサポートの仕方 等

スライドを交えながら、ご自身の体験など詳しくお話しいただきました。

講演の最後に、弱視になって学んだことは、「(1)チャレンジすること。(2)チャレンジし続けて工夫すること、が大事。何事も諦めずに向き合っていてほしい。」とメッセージをいただきました。

《参加した方からの感想》

- ・見た目にはわからない障害があると、考えさせられました。
- ・ロービジョンという言葉すら知らなかったので、すごく勉強になりました。
- ・普段どのくらいクリアに見えているか、弱視の体験をしてわかりました。
- ・弱視の方の見え方も千差万別だということが、わかりました。
- ・他人からは弱視であるということが全く気づけないので、どうやって周りの人に知ってもらうのが重要ではないかと思います。
- ・うまくいかないことが起こったとき、そこから立ち上がって乗り越えていく力になるのが、周りの人の言葉であるということが印象に残りました。
- ・自分が輝くことで、周りの人を勇気づけられるという言葉が印象的でした。

《委員からの感想》

- ・ゴーグルを着けた瞬間に、弱視の方々のご苦労を知ることができた。
- ・外見ではわかりにくい障害を抱えた方が、周りには意外と多くいるかもしれない。自分たちには何ができるのかを考える機会をいただいた。

質疑応答では、子どもたちからの質問に丁寧に答えていただきました。岩田氏の明るくフレンドリーなお人柄が、子どもたちにも伝わったようです。岩田氏からも、「思った以上に子どもたちからの反応や質問があったことが嬉しかった。」とご感想をいただきました。

今回の講演会では、ロービジョン（弱視）の方との触れ合いをとおして、弱視体験は初めてという方がほとんどでしたが、とても貴重な体験をさせていただきました。



ご多用の中、多くの皆さまにご参加いただきましたこと、感謝申し上げます。

第3回家庭教育学級は、

2/12(火)「親から子へ伝えたい 性共育講座(10:00~ランチルームにて)」

こちらもどうぞお楽しみに。